

工業会

村松 和明 むらまつ かずあき

工学部生物工学科 平成5年卒業
東京電機大学理工学部生命科学系 教授・学系長



(略歴)

- 1993年3月 徳島大学工学部生物工学科卒業
- 1995年3月 徳島大学工学研究科博士前期課程
生物学専攻修了
- 1995年4月 新日本理化株式会社京都研究所
- 1998年1月 京セラ株式会社バイオセラム事業部研究開発部
- 2003年11月 学位取得 博士(工学) (徳島大学)
- 2005年4月 東京電機大学理工学部生命工学科講師
- 2008年4月 東京電機大学理工学部生命理工学系准教授
- 2013年10月 東京電機大学理工学部生命理工学系教授
- 2017年4月 東京電機大学理工学部生命科学系学系長 (現在に至る)

村松和明氏は生物工学科第2期生であり、本学修士課程修了後、学生時代に奨学金を支給頂いた化学メーカーに入社され、天然高分子を活用した素材開発に取り組みられました。その後、整形外科・歯科領域の製品を扱う医療材料メーカーに転職され、複数の新規プロジェクト（循環器領域の製品開発や再生医療分野の研究）に従事されました。この間、通商産業省工業技術院物質工学研究所（現・産業技術総合研究所）で2年間、奈良県立医科大学で1年間、社外で研究する機会を得たことが契機となり、母校で学位取得をされています。2005年には東京電機大学理工学部へ奉職され、それ以来、再生医学や組織工学、生体材料学などの教育研究に携わられています。研究活動面では、特にヒアルロン酸誘導体の新しい生理機能の解明や、その医学応用に関する研究に注力しておられています。また、私立大学は生き残りをかけて組織改編を行う機会が多く、東京電機大学理工学部では、2007年より一早く取り入れられた学系制度（※学科に代わる学系を採用し、主・副コースによるダブルメジャー制度）に基づいて、学際領域に貢献できる科学技術者を養成されています。2017年の改編で、教育カリキュラムとともに学系名称も再度変更されたのと同時に、学系長にご就任され、学生の教育や学系運営に日々試行錯誤しながら奔走し、毎日を過ごされています。